

| 実施日程 | 実施校名 | 都道府県・政令指定都市等 |
|-----------|----------------------|--------------|
| 2023 | | |
| 11月6日(月) | 秀明大学学校教師学部附属秀明八千代中学校 | 千葉県 |
| 11月14日(火) | 佐伯市立本匠小学校 | 大分県 |
| 11月15日(水) | 添田町立落合小学校 | 福岡県 |
| 11月16日(木) | 菊池市立泗水西小学校 | 熊本県 |
| 11月17日(金) | 築上町立葛城小学校 | 福岡県 |
| 11月20日(月) | 大分市立川添小学校 | 大分県 |
| 11月21日(火) | 宇佐市立長峰小学校 | // |
| 11月24日(金) | 熊本市立城南小学校 | 熊本市 |
| 11月27日(月) | 鹿島市立浜小学校 | 佐賀県 |
| 11月28日(火) | うきは市立山春小学校 | 福岡県 |
| 11月29日(水) | 福岡市立下山門小学校 | 福岡市 |
| 12月6日(水) | 平戸市立中野小学校 | 長崎県 |
| 12月8日(金) | 南島原市立大野木場小学校 | // |
| 12月20日(水) | 匝瑳市立豊栄小学校 | 千葉県 |

知ってますか? ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

オペラシアターこんにゃく座とは…

オペラシアターこんにゃく座は、〈新しい日本のオペラの創造と普及〉を目的に掲げ、1971年に創立されました。母体となったのは、東京芸術大学内で1965年から12年間にわたって活動が続いた学生たちのサークル「こんにゃく体操クラブ」です。このクラブでは、故宮川陸子氏（元東京芸術大学名誉教授）指導のもとに、身体訓練と演技の基礎訓練が行われました。

こんにゃく座は、この「こんにゃく体操クラブ」出身者たちにより、日本語のオペラ作品をレパートリーとするオペラ劇団として設立され、全国巡回公演を開始しました。日本で上演されるオペラは、原語での上演も多く字幕の助けを必要とすることが多いため、一般の観客が楽しめるものになっていません。そのなかでこんにゃく座は創立当初から日本語をいかに伝えるかを課題とし、その結果、よく聞き取れる、内容の伝わるオペラが数多く創り出されました。

こんにゃく座はまた、オペラの演劇性を重視し、演出面にも斬新な発想を提示し続けています。そして大掛かりなグランド・オペラの方向はとらず、ピアノのみ、あるいは小編成のアンサンブルの演奏と少人数の出演者による作品を創作し、上演を重ねてきています。その成果は各方面からの評価を得ています。

オペラシアターこんにゃく座

〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原7-14-1 TEL 044-930-1720 FAX 044-930-1721

E-mail info@konnyakuza.com URL https://www.konnyakuza.com



オペラ 森は生きています

オペラシアターこんにゃく座公演

令和5年度 - 学校巡回公演事業 - オペラ公演

「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による美演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに美演指導又は鑑賞指導を行います。

また、美演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



文部科学省

舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

オペラ 森は生きている

オペラシアターこんにゃく座公演

原作 サムイル・マルシャーク
 訳 湯浅 芳子
 台本・作曲 林 光
 演出 眞鍋 卓嗣



わがままな女王の気まぐれからはじまった
 かごいっぱい金貨につられたマツユキ草探し
 むりやり冬の森へ行かされた〈むすめ〉が出会ったのは
 〈時間〉をつかさどる自然のまもり手
 一月から十二月までの十二人の〈月の精〉たちだった
 “もえろ もえろ あざやかに”
 月たちが歌う焚き火のぬくもりのなかで
 〈むすめ〉はなにをもらったか？
 女王はなにを学んだか？

キャスト

- 1月・総理大臣 …… 沢井栄次
- 2月・警護隊長 …… 吉田進也・大久保哲
- 3月・オオカミ …… 彦坂仁美
- 4月・カラス …… 泉篤史
- 5月・ウサギ …… 冬木理森
- 6月・もうひとりのむすめ… 小林ゆず子
- 7月・むすめ …… 鈴木裕加
- 8月・女官長 / オオカミ … 西田玲子
- 9月・おっかさん …… 齊藤路都
- 10月・女王 …… 高岡由季
- 11月・兵士 …… 松田祐慈郎
- 12月・博士 …… 高野うるお
- ピアニスト …… 入川舜・榊原紀保子

マツユキ草

ヒガンバナ科の観賞用植物。二十センチメートルほどの茎の先端に数個の下向きの白い花をつける。早春に開花。スノードロップ＝雪のしずく。



写真＝前澤秀登

いつものように、森へたきぎ拾いにきた働きものの娘は、偶然出会った兵士から不思議な話をききました。それは大晦日、森でひそかに交わされる、「時」をめぐる十二の月の精たちの秘めごとです。

宮殿では、今日も女王が博士（女王の家庭教師）を困らせています。気まぐれな女王が真冬に四月の花マツユキ草をほしめと言いだしたのです。ほうびの金貨に目のくらんだ欲ぶかい継母と姉娘のいつつで、吹雪の森に分け入った娘は、そこで十二の月の精と出会います。娘の話をきいた「四月」の若者は、他の月たちに頼んで一時間だけ「時」をゆずってもらいます。冬から春へたちまち季節はめぐり、なんと娘の前にマツユキ草が！

家でまちかまえていた継母たちは、娘からマツユキ草を取り上げ、「四月」の若者が娘に贈った指輪をも横どりすると、いそいそと金貨を受け取りに宮殿へ。だが、事のとてんまつを女王に問われて、答えに窮した継母と姉は、ついにありのままを白状、指輪は女王の手に渡ります。

女王は、遠乗り会よろしく各国の大使と家来全員をひき連れて森へ到着し、連れてこられた娘にむかい、マツユキ草の秘密を明かせと迫ります。決して人には話さないという「四月」との約束に、固く口をつぐむ娘。腹を立てた女王は、その指輪を雪のなかへと放りなげてしまいます。だが、それが秘密のカギでした。娘は必死に四月からおそわった呪文をとなえると、あたり一面にマツユキ草が咲きます。しかしそれは一瞬にして消え、驚く女王たちの目の前で季節がすぎつぎと変わって行きます。そしてあたりはふたたび真冬の森に。

女王たちはごえながら森をさまよいます……